

WASEDA
まちづくり
SYMPOSIUM
2001

いま
日本のまちづくりの
根本を検証する

主催 早稲田大学まちづくりシンポジウム実行委員会
共催 早稲田大学都市計画フォーラム／稻門建築会
早稲田大学理工学総合研究センター
早稲田大学都市・地域研究所／早稲田大学芸術学校
後援 日本都市計画学会／日本都市計画家協会
福門市長会／稻門町村長会／自治体学会

はじめに「生命の網目都市を求める」·····1

第7回 メイヤーズ会議 (2001.6.30)

「市民社会と地域経営」

総論「市民社会と地域経営」	4
ゲストメイラー紹介とコメント	6
松浦幸雄（高崎市長）／河内山哲郎（柳井市長）／千葉光行（市川市長）	
岡村幸四郎（川口市長）／土屋正忠（武蔵野市長）／原田敬美（港区長）	
佐々木誠造（青森市長）／富塚陽一（鶴岡市長）／宮下裕（善通寺市長）	
パネリスト紹介とコメント	44
竹内佐和子／工藤裕子／佐藤滋／中川義英	

第9回まちづくりシンポジウム（2001.7.1）

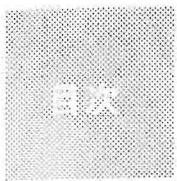
「いま日本のまちづくりの根本を検証する」

総論レポート「21世紀の首都圖像」	50
基調レポート「21世紀の首都圖像」	50
総論「主題設定の背景と認識」	64
第1部「都市計画は21世紀の社会資本をつくれるか」	66
1 状況と問題意識	
2 論点の整理	
3 検討のプロセス	
4 参考資料	
5 パネリストからのコメント	
第2部「進化する市民参加と21世紀のまちづくり」	111
1 状況と問題意識	
2 論点の整理	
3 検討のプロセス	
4 参考資料	
5 パネリストからのコメント	

企画委員会メンバーリスト

編集後記

WASEDA
まちづくり
SYMPOSIUM
2 0 0 1



はじめに「生命の網目都市を求める」····· 1

第7回 メイヤーズ会議 (2001.6.30)

「市民社会と地域経営」

総論「市民社会と地域経営」	4
ゲストメイラー紹介とコメント	6
松浦幸雄（高崎市長）／河内山哲郎（柳井市長）／千葉光行（市川市長）	
岡村幸四郎（川口市長）／土屋正忠（武藏野市長）／原田敬美（港区長）	
佐々木誠造（青森市長）／富塚陽一（鶴岡市長）／宮下裕（善通寺市長）	
パネリスト紹介とコメント	44
竹内佐和子／工藤裕子／佐藤滋／中川義英	

第9回 まちづくりシンポジウム (2001.7.1)

「いま日本のまちづくりの根本を検証する」

基調レポート「21世紀の首都圏像」	50
総論「主題設定の背景と認識」	64
第1部「都市計画は21世紀の社会資本をつくるか」	66
1 状況と問題意識	
2 論点の整理	
3 検討のプロセス	
4 参考資料	
5 パネリストからのコメント	
第2部「進化する市民参加と21世紀のまちづくり」	111
1 状況と問題意識	
2 論点の整理	
3 検討のプロセス	
4 参考資料	
5 パネリストからのコメント	
パネリストプロフィール	151

企画委員会メンバーリスト

編集後記

WASEDA
まちづくり
SYMPOSIUM
2 0 0 1

パネリスト紹介

第一部「都市計画は21世紀の社会資本をつくれるか」



岩田規久男（いわた きくお）

学習院大学経済学部教授 昭和17年10月3日生まれ。昭和41年東京大学経済学部卒業、昭和42年同大学大学院経済学研究科修士課程入学、昭和48年同研究科博士課程終了。上智大学教授を経て、平成10年から現職。専攻は都市経済学。著書に「ストック経済の構造」、「都市と土地の理論」（共著）、「住宅の経済学」（編著）など



平本一雄（ひらもと かずお）

1970年京都大学大学院修士課程修了、工学博士。1971年三菱総研入社、現在に至る。東京大学先端科学技術センター客員研究員。横浜みなとみらい21、東京臨海副都心、ソウル市街地再開発、マレーシア情報首都（サイバージャヤ）などの都市開発を始め社会プロジェクトの企画・事業化に従事。現在は次世代ネットワークを前提とするデジタルシティ構想について研究中。



森反章夫（もりたん あきお）

鳥取県出身。東京経済大学所属。社会学者。都市・住宅政策の社会学的分析を試みる。95年の震災復興問題に出会う。現代社会でのボランタリーな実践・まちづくり実践と都市計画などの諸法・制度との関係のあり方に理論的関心をおく。千代田区、国分寺市の都市マスターplan策定、町田市の緑の基本計画策定などに加わり、計画の奥深さにふれた。



田中滋夫（たなか しげお）

(株)都市デザイン代表取締役 早稲田大学非常勤講師
1943年 東京都生まれ、1966年 早稲田大学理工学部建築学科卒業
1970年 早稲田大学大学院建設工学科都市計画専攻博士課程修了
1972年 株式会社ダムダン空間工作所創設
1979年 同上都市計画・地域計画部門として株式会社都市デザインを設立



門内輝行（もんない てるゆき）

1950年岡山県生まれ。1973年京都大学工学部建築学科卒業、1975年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、1977年同博士課程中退、東京大学生産技術研究所助手を経て、1989年早稲田大学理工学部助教授、1997年より同教授（複合領域）。博士（工学）。1998年日本建築学会賞（論文）受賞。専門は、建築・都市計画、設計方法論、記号論。



笹原克（ささはら かつ）

1949年東京生まれ。工学院大学大学院建築学修士。大学院では伊藤鄭爾のもとで歴史を囁りながら、半分の時間は浅田孝の事務所に潜り込んでいました。大学院を出て、そのまま浅田さんの会社（環境開発センター）に勤めましたが、私が最後に入社した社員でした。徒弟期間を終了して、心許なく一人立ちしてオイコス計画研究所をつくり、アッという間に2001年をむかえています。



村山武彦（むらやま たけひこ）

1980年に早稲田大学理工学部を卒業後、東京工業大学大学院で社会工学を専攻（工学博士）。その後、日本学術振興会特別研究員、東京工業大学工学部助手、福島大学行政社会学部を経て現職。放送大客員教授。有害化学物質や廃棄物による環境リスクの社会的な管理、リスクコミュニケーション、環境アセスメントなどに関心を持つ。1994年に、（社）環境科学会より論文賞。

パネリスト紹介

第一部「都市計画は21世紀の社会資本をつくれるか」



岩田規久男 (いわた きくお)

学習院大学経済学部教授 昭和17年10月3日生まれ。昭和41年東京大学経済学部卒業、昭和42年同大学大学院経済学研究科修士課程入学、昭和48年同研究科博士課程終了。上智大学教授を経て、平成10年から現職。専攻は都市経済学。著書に「ストック経済の構造」、「都市と土地の理論」(共著)、「住宅の経済学」(編著)など



平本一雄 (ひらもと かずお)

1970年京都大学大学院修士課程修了、工学博士。1971年三菱総研入社、現在に至る。東京大学先端科学技術センター客員研究員。横浜みなとみらい21、東京臨海副都心、ソウル市街地再開発、マレーシア情報首都(サイバージャヤ)などの都市開発を始め社会プロジェクトの企画・事業化に従事。現在は次世代ネットワークを前提とするデジタルシティ構想について研究中。



森反章夫 (もりたん あきお)

鳥取県出身。東京経済大学所属。社会学者。都市・住宅政策の社会学的分析を試みる。95年の震災復興問題に出会い、現代社会でのボランタリーな実践・まちづくり実践と都市計画などの諸法・制度との関係のあり方に理論的関心をおく。千代田区、国分寺市の都市マスター・プラン策定、町田市の緑の基本計画策定などに加わり、計画の奥深さにふれた。



田中滋夫 (たなか しげお)

(株)都市デザイン代表取締役 早稲田大学非常勤講師
1943年 東京都生まれ、1966年 早稲田大学理工学部建築学科卒業
1970年 早稲田大学大学院建設工学科都市計画専攻博士課程修了
1972年 株式会社ダムダン空間工作所創設
1979年 同上都市計画・地域計画部門として株式会社都市デザインを設立



門内輝行 (もんない てるゆき)

1950年岡山県生まれ。1973年京都大学工学部建築学科卒業、1975年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、1977年同博士課程中退、東京大学生産技術研究所助手を経て、1989年早稲田大学理工学部助教授、1997年より同教授(複合領域)。博士(工学)。1998年日本建築学会賞(論文)受賞。専門は、建築・都市計画、設計方法論、記号論。



笹原克 (ささはら かつ)

1949年東京生まれ。工学院大学大学院建築学修士。大学院では伊藤鄭爾のもとで歴史を囁りながら、半分の時間は浅田孝の事務所に潜り込んでいました。大学院を出て、そのまま浅田さんの会社(環境開発センター)に勤めましたが、私が最後に入社した社員でした。徒弟期間を終了して、心許なく一人立ちしてオイコス計画研究所をつくり、アッという間に2001年をむかえています。



村山武彦 (むらやま たけひこ)

1980年に早稲田大学理工学部を卒業後、東京工業大学大学院で社会工学を専攻(工学博士)。その後、日本学術振興会特別研究員、東京工業大学工学部助手、福島大学行政社会学部を経て現職。放送大客員教授。有害化学物質や廃棄物による環境リスクの社会的な管理、リスクコミュニケーション、環境アセスメントなどに関心を持つ。1994年に、(社)環境科学会より論文賞。

パネリスト紹介

第二部「進化する市民参加と21世紀のまちづくり」



河村孝 (かわむら たかし)

1954年生まれ。企画経営室、まちづくり総合推進本部等を経て、2000年から現職。基本構想・基本計画の策定・改定、まちづくりプランの策定、まちづくり研究所(現研究所)の設立等に係わる。1988年朝日新聞社の懸賞論文に自主研究グループで応募し、最優秀賞を受賞。著書に『市民参加と自治体公務』(共著/学陽書房)、『きみのまちの問題の解き方』(共著/公人社)。



小林隆 (こばやし たかし)

1962年東京都生まれ。筑波大学大学院環境科学研究科修了。大和市企画課外部情報政策課副主幹。慶應義塾大学SFC研究所所員(訪問)。日本建築学会情報社会ビジョン小委員会委員、同都市・地域計画情報WG委員、著作に「市民参加のまちづくり ～マスター・プランづくりの現場から～」(共著、学芸出版社)など。



中川陽一郎 (なかがわ よういちろう)

中川特殊鋼株式会社 代表取締役社長 1970年:慶應義塾大学工学部機械工学科卒業、1972年:米国スタンフォード大学大学院マテリアルサイエンス科修士課程卒業、翌年中川特殊鋼株式会社入社、1993年:代表取締役社長就任
その他 日本スタンフォード協会副会長兼事務局長、学校法人須賀学園評議員



田村和寿 (たむら かずひさ)

(株)都市計画連合アトリエ 代表取締役、(財)武藏野市開発公社 理事 など
①政経学部、大学院経済専修科にて理論経済学を学ぶ。②産業経済、文化、コミュニケーション、地域経営などソフト分野を足場に、地域社会と行政の諸課題に関わる。眼性と構造的アプローチを旨に、幾百のプロジェクト、場所を経験するも、未だ道半ばの感強し。④人々の生と苦楽ある限り、場と時をめぐる理と企みの要あり。敢えてディレッタンティズムを掲げ、歩み続ける所存也。



土方正夫 (ひじかた まさお)

早稲田大学社会科学部教授。
専門分野は情報システム科学、ヒューマンコミュニケーションインターフェイス。
現在の研究分野は“地域計画支援コミュニケーションシステム”



早田宰 (そうだ おさむ)

東京生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、同大学院理工学研究科修了。同博士後期課程単位取得退学。現在、早稲田大学社会科学部助教授。研究分野は、都市計画、居住環境整備計画、都市計画制度、都市及び住宅政策、計画策定手続、コミュニティ開発、住環境シミュレーション。足立区都市計画審議会委員、中野区まちづくり公社評議員を務める。



梅沢隆 (うめざわ たかし)

1985年 早稲田大学大学院卒(都市計画専攻)。同年(株)アル・アイ・エー入社。民間プランナーとして法定再開発、再地区等による都市計画事業を担当(東品川4丁目再開発など)。業務の傍ら住民と共に「まちの謎解きブック」を出版、世田谷「ねこじやらし公園」等の住民参加の計画づくりに参画。現在、RIA情報ネットワーク構築を情報戦略室にて担当。